

事 務 連 絡
令和3年12月24日

各都道府県教育委員会指導事務主管課
各指定都市教育委員会指導事務主管課
各都道府県私立学校事務担当課
附属小学校・附属特別支援学校を置く 御中
各国公立大学法人附属学校事務担当課
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた
各地方公共団体株式会社立学校事務担当課

文部科学省初等中等教育局教 育 課 程 課
特別支援教育課
健康教育・食育課

J Aバンク作成補助教材について

この度、農林水産省から、別添事務連絡のとおり、J Aバンクが作成した補助教材「農業とわたしたちの暮らし」（「小学校高学年版」及び「特別支援教育版」の児童用・教師用）を全国の小学校及び特別支援学校に配布するとの連絡がありました。

については、各都道府県教育委員会指導事務主管課におかれては、域内の学校等を設置する市町村教育委員会及び所管の学校等に対して、各指定都市教育委員会指導事務主管課におかれては、所管の学校に対して、各都道府県私立学校事務担当課及び構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた各地方公共団体株式会社立学校事務担当課におかれては、所轄の学校等及び学校法人等に対して、各国公立大学法人附属学校事務担当課におかれては、その管下の学校等に対して、適切に御周知いただきますようお願いいたします。

なお、当該教材については、令和4年2月中旬以降にJ Aバンク等から域内の各小学校等に直接配布されることとなっています。当該教材に係る問合せについては、J Aバンク食農教育応援事業事務局へ直接お問い合わせください。また、本教材の活用方法については各学校で適宜御判断いただいて構わないものであることを申し添えます。

【J Aバンク作成補助教材に係る問合せ先】

J Aバンク食農教育応援事業事務局

電話 03-5679-1285

※J Aバンクは、J A（農業協同組合）、信連（都道府県信用農業協同組合連合会）、農林中央金庫で構成するグループの名称です。

【本件担当】

文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程総括係

電話 03-5253-4111（内線2073）

事 務 連 絡

令和3年12月15日

文部科学省初等中等教育局教育課程課
初等中等教育局特別支援教育課
初等中等教育局健康教育・食育課 御中

農林水産省経営局金融調整課

JAバンク作成補助教材の配付に係る要請について

貴省におかれましては、日頃より農林水産行政の推進につきまして、ご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、当課で所管している農林中央金庫から、JAバンク（※）が作成する小学校高学年を対象とした補助教材「農業とわたしたちの暮らし」を、例年どおり、全国の小学校及び特別支援学校へ配付したいとの要請がありますので、その旨お知らせいたします。

※ JAバンク：JAバンクの会員である、JA（農業協同組合）、信連（都道府県信用農業協同組合連合会）、農林中央金庫で構成するグループの名称。

【JAバンク教材本に係る問合せ先】

JAバンク食農教育応援事業事務局

電話：03-5679-1285

【連絡先】

農林水産省経営局金融調整課

電話：03-6744-1398

担当：長井、柿川



農業と わたしたちの 暮らし

〔小学校高学年〕



目次

● 農業とわたしたちの暮らし

1. 給食の食材は何か  1 2

● 日本の農業

2. 日本農業マップをつくろう 4

3. 農業と地形や気候 6

● 農産物の生産

4. 米ができるまで  2 8

5. 野菜ができるまで  3 10

6. 果物をつくる  4 12

7. 牛を育てる  5 13

8. 農業技術の移り変わり  7 14

● 農産物がとどくまで

9. 消費地にとどける  6 16

● これからの農業

10. 農業をつなぐ・支える  7 18

11. 農業でがんばる若者  7 20

12. 農業の新しい取組  7 22

13. 農業の発展と消費者の関わり 24

● 自由研究

農業・農村に関わる
「なぜ?」「どうして?」「どうなっているの?」

親子でチャレンジしよう!

自由研究 26

※  のマークがついた項目には、DVDの資料があります。この資料は、JAバンクアグリ・エコサポート基金のホームページでも見るすることができます。

年

組 名前

農業とわたしたちの暮らし

2022年度版



教師用

対象学年：小学校高学年

目次

■ 監修者のことば	2	
■ 資料／副読本『農業とわたしたちの暮らし』と 新学習指導要領(平成29年3月告示)との関連	3	
■ 理解促進へDVD教材を活用してください	4	
農業とわたしたちの暮らし		
① 給食の食材は何か	5	1
日本の農業		
② 日本農業マップをつくろう	6	
③ 農業と地形や気候	7	
農産物の生産		
④ 米ができるまで	8	2
⑤ 野菜ができるまで	9	3
⑥ 果物をつくる	10	4
⑦ 牛を育てる	11	5
⑧ 農業技術の移り変わり	12	7
農産物がとどくまで		
⑨ 消費地にとどける	13	6
これからの農業		
⑩ 農業をつなぐ・支える	14	7
⑪ 農業でがんばる若者	15	7
⑫ 農業の新しい取組	16	7
⑬ 農業の発展と消費者の関わり	17	
◎自由研究の手引き	18	
◎日本の農業●基本データ	19	



※副読本活用のポイントは、P.3に詳しく掲載しています。

※副読本『農業とわたしたちの暮らし』の10の項目に関連したDVD教材を作成し、その項目には、がついています(詳細はP.4参照)。

※副読本『農業とわたしたちの暮らし』及び本教師用で紹介している資料やウェブサイトは2021年10月1日現在のものです。

のう ぎょう 農業と わたしたちの くらし

[特別支援教育版]



目次

- 1 今日の給食きょう きゅうしょく
- 2 ちいきの農業を見つけようちいきのうぎょう み
- 3 米をつくろうこめ
- 4 野菜をそだてるやさい
- 5 くだものをつくるしごと
- 6 ちくさん農家のしごとのう か
- 7 日本の農業地図にほん のうぎょう ちず
- 8 農産物がとどくまでのうさんぶつ
- 9 わたしたちのくらしと農業のうぎょう
- 10 買いものに行こうかいもの い
- 11 りょうりをつくろう



かんが せいさく
ユニバーサルデザインの考えにもとづいて制作しています。

ねん
年

くみ
組

なまえ
名前

JAバンク

●取材協力	一般社団法人 日本物流団体連合会 株式会社 小野ファーム（横浜市）	
●撮影協力	株式会社 いなげや 東京都千代田区立千代田小学校 レ・アル かきぬま	
●写真・資料提供	一般社団法人 家の光協会 J A 愛知みなみ J A 伊勢 J A 茨城みなみ J A 大阪南 J A 岡山中央会 J A きたみらい J A 熊本市 J A さいたま J A さが J A さつま日置 J A 徳島市 J A 山形おきたま	うきは市 国土交通省海事局 全国農業協同組合連合会 茨城県本部 全日本空輸 株式会社 東三河セーフティネット事務局 ホクレン農業協同組合連合会 北海道胆振総合振興局産業振興部農務課 北海道十勝総合振興局産業振興部南部耕地出張所 マイナビ農業 雪印こどもの国牧場

副読本『農業とわたしたちの暮らし』[特別支援教育版(知的障害)]は、特別な支援を必要とする児童・生徒の学習実態に配慮して、ユニバーサルデザインの考えに基づいて制作しています。

- 誰もが読みやすい紙面となるよう、文字の大きさや行数、文字・行の間隔、改行位置などに配慮しました。文字は、ユニバーサルデザインの考えに基づいて開発されたフォントを使用しています。また、資料やイラストなどのレイアウトについても同様の工夫をしています。
- 色覚の特性に影響されず、見やすく分かりやすい紙面となるよう、配色に配慮しました。学習活動の内容が感覚的に分かりやすいよう、学習のテーマとなる資料は緑で左側に配置し、児童・生徒が取り組む書き込みや調べるといった作業を伴う箇所は青で右側に配置し、区別しています。

	2020年3月発行
このテキストを使って授業をした後、子どもたちが感じたこと、学んだことをふまえて、テキストの裏表紙に学習のまとめを記入させ、コピーして下記の事務局までご送付くださいますよう、お願いいたします。送付のお礼として、児童・生徒数分の鉛筆を差し上げます。今後さらに「食農教育」を推進していくにあたって参考にしたいと考えておりますので、お手数をおかけしますが何卒ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。	【発 行】一般社団法人 J A バンクアグリ・エコサポート基金 http://www.jabank-aes.or.jp/
※別紙に学校住所、電話番号、学校名、先生のお名前、児童・生徒数を明記の上、下記事務局まで郵送にてご送付ください。	【編集・制作】株式会社 日本教育新聞社 株式会社 日本農業新聞
※大変恐縮ですが、送付の費用はご負担いただきます。ご容赦ください。	【監 修】澤井 陽介（国土館大学 教授）
※厳重に梱包の上、郵送にてご送付ください。※書留でのご送付をお勧めいたします。	【お問い合わせ】J A バンク食農教育応援事業 事務局 TEL：03-5679-1285 FAX：03-5679-1286 （受付時間 9：00～17：00／土日・祝日除く）
送付先 〒134-8585 東京都江戸川区臨海町 5-2-2 アテナビル内C棟 6 F J A バンク食農教育応援事業 事務局 行 TEL 03-5679-1285 FAX 03-5679-1286 （9：00～17：00／土日・祝日除く）	※テキストの内容に関するご質問などは下記までお問い合わせください。 株式会社 日本教育新聞社 TEL：03-3280-7058 FAX：03-3280-7075 （受付時間 9：00～17：30／土日・祝日除く）

〈個人情報の取扱いについて〉

1. 個人情報の利用目的：お送りいただいた個人情報は、お礼発送のほか、個人を特定しない統計情報の形で利用させていただきます。 2. お送りいただいたアンケート・感想文の著作権は J A バンクアグリ・エコサポート基金に帰属し、広報資料等として使用場合がございます。予めご了承ください。 3. 個人情報保護対策：個人情報の管理、運用についての責任を有する者として、個人情報統括管理責任者を置き、個人情報保護規定、情報システム資源取扱規定等を定め、遵守することを役員及び従業員に義務付けています。 4. 外部委託：当法人は、J A バンク食農教育応援事業 事務局（以下「事務局」という。）の一部もしくは全部について当法人所定の評価基準により、適切と判断した取引先に対し、業務委託契約及び秘密保持契約を締結した上で行う場合がございます。 5. 個人情報の開示、利用目的の通知、保有する個人情報の内容が事実と反する場合等における訂正、利用停止（以下「開示等」という。）のご請求を受付いたします。開示等の請求の具体的な手続きに関しましては、事務局までお問い合わせください。



農業とわたしたちの暮らし

[特別支援教育版]（知的障害）

教師用

JAバンク

監修者のことば

農家や農業への関心をもたせたい

国土館大学教授 澤井 陽介

私たちはだれでも、安全で栄養のある物をバランスよく食べることで、毎日を健康に生きていくことができます。そして、それらの食べ物がどのような人々によって、どのように生産され、どのように運ばれて、どのように販売され、私たちの食卓に並ぶのかということを知るとは、自分の生活を確立し、食生活や消費生活の自立へと向かうための大切な理解事項になります。

副読本『農業とわたしたちの暮らし』[特別支援教育版（知的障害）]は、インクルーシブ教育システム構築の推進が求められる中であって、特別支援学校や特別支援学級の子どもたちが、社会

とのさまざまなつながりに気づき、それらに目を向けて、社会に効果的に参加することができることを願って編集されました。具体的には、農業や農家の仕事に関心をもったり、自分たちの生活を支える社会の仕組みに気づいたりする活動、植物の栽培の仕方、買い物の仕方、料理の仕方などを自立してできるようになるための活動など、さまざまな活動において柔軟に活用できるよう構成されています。

各学校や学級の子どもたちの実態、先生方の指導方針などに基づいて、本教材を有効に活用していただけると幸いです。

